

# 平成30年度埼玉県公立学校における児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

## 1. 調査項目・調査対象（さいたま市を含む。）

- ・ 暴力行為（小・中・高等学校）
- ・ いじめ（小・中・高等学校・特別支援学校）
- ・ 長期欠席（不登校等）（小・中・高等学校）
- ・ 高等学校中途退学（高等学校）
- ・ 自殺（小・中・高等学校）
- ・ 出席停止（小・中学校）

※調査対象期間は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの1年間

## 2. 調査結果の主な特徴（カッコ内は前年度）

### (1) 暴力行為

小・中・高等学校における暴力行為の発生件数は3,509件（2,561件）であり、児童生徒1,000人当たりの発生件数は5.2件（3.8件）である。特に小学校における暴力行為は1,821件であり、前年度に比べ557件増加している。過去5年で6.6倍（H26:276件→H30:1,821件）になっている。内容別では生徒間暴力が大幅に増加している。

暴力行為の増加は憂慮すべき状況であるが、特に小学校においてはいじめ認知件数の増加と相関がうかがえ、軽微なものも取り上げて適切に対応する姿勢の表れとみている。

### (2) いじめ

小・中・高等学校・特別支援学校におけるいじめの認知件数は18,259件（12,409件）であり、児童生徒1,000人当たりの認知件数は27件（18.2件）である。特に、小学校におけるいじめの認知件数は14,420件であり、前年度に比べ、4,926件増加している。過去5年で10.4倍（H26:1,389件→H30:14,420件）になっている。

また、いじめの重大事態の発生件数は23件（21件）であり、いじめ防止対策推進法施行以降最多となっている。

いじめの認知件数の増加は、いじめを初期段階のものも含めて積極的に認知し、解消に向けた取組をスタートさせようとする意識の高まりと考えている。一方、重大事態の増加は憂慮すべき状況である。法にのっとった適切な対応が必要である。

### (3) 長期欠席（不登校等）

小・中学校における長期欠席者数は12,362人（10,964人）である。このうち不登校児童生徒数は7,584人（6,506人）であり、1,000人当たりの不登校児童生徒数は13.9人（11.8人）である。

過去5年の傾向として不登校児童生徒数は増加傾向であるが、全国の1,000人当たりの不登校児童生徒数と比べると、低い状況である。

高等学校における長期欠席者数は3,217人（3,302人）である。このうち不登校生徒数は2,594人（2,476人）であり、1,000人当たりの不登校生徒数は21.8人（20.5人）である。

過去5年の傾向として不登校児童生徒数は微増傾向であり、全国の1,000人当たりの不登校生徒数と比べると、高い状況である。

不登校児童生徒数が増加していることは憂慮すべきことではあるが、不登校に対する社会の見方が「問題行動」から「理解し、受容するもの」へと変化していることから、専門家や外部機関等と連携をしながら不登校児童生徒への支援等に更に取り組んでいく必要がある。

(4) 高等学校中途退学

高等学校における中途退学者数は1,412人（1,469人）であり、中途退学者の割合は1.2%（1.2%）である。過去5年の傾向として減少傾向にあるが、近年は横ばいである。全国の中途退学率と比べると、低い状況にある。

(5) 自殺

小・中・高等学校から報告のあった自殺した児童生徒数は20人（9人）である。過去5年の傾向として、横ばいから上昇に転じている。これは全国の傾向と同じ状況である。

児童生徒の自殺が増えていることは、極めて憂慮すべき状況であり、相談窓口等の周知や、SOSの出し方教育など自殺予防教育に努めていく。

<参考>

県教育局生徒指導課ホームページでもデータを見ることができます。

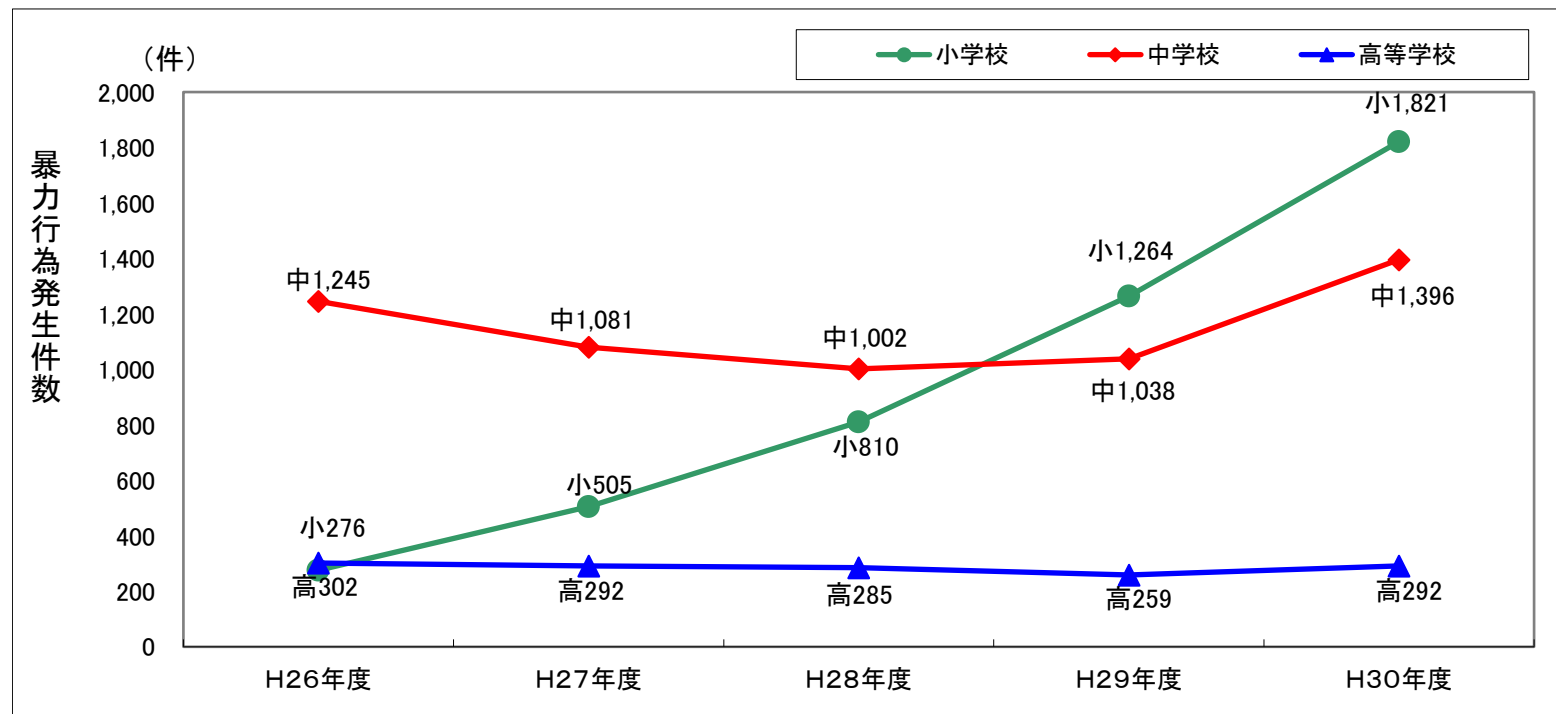
URL：<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2209/toukei/jidouseito-mondai-kekka22.html>

# 1 暴力行為の状況

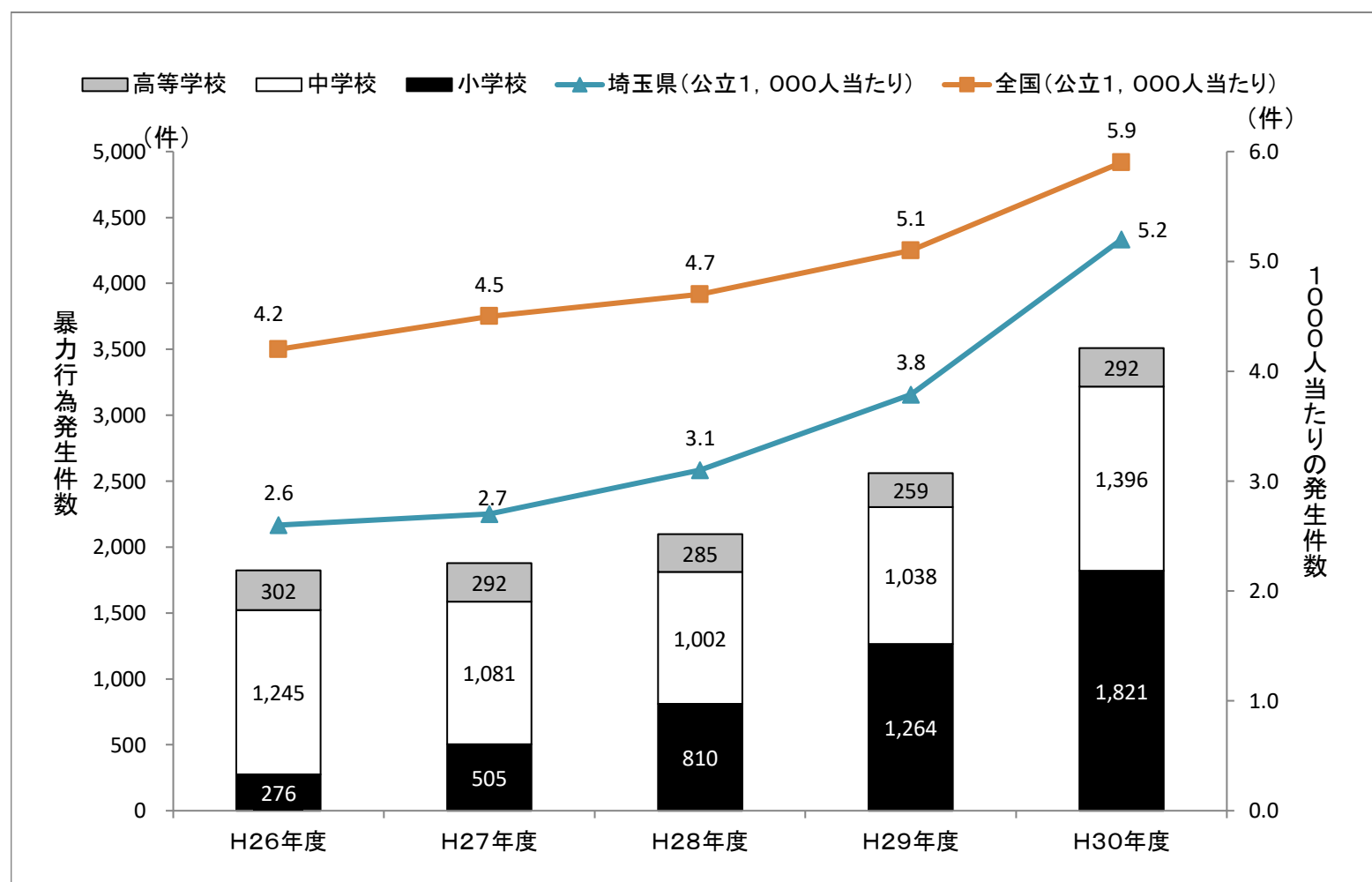
関連資料

(1) 暴力行為発生件数の推移 (過去5年)

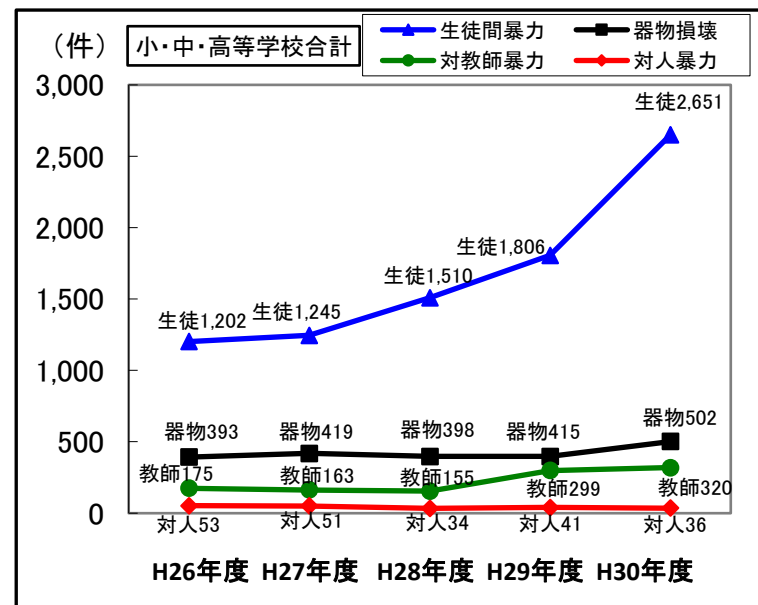
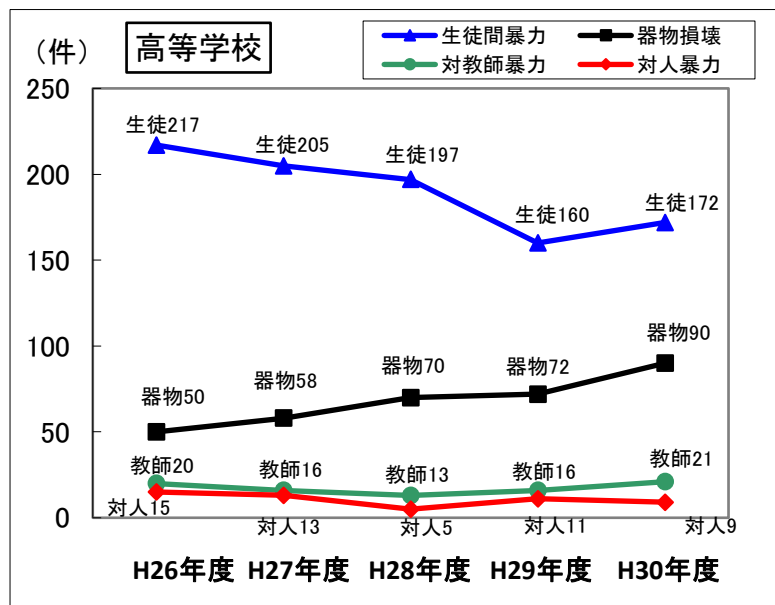
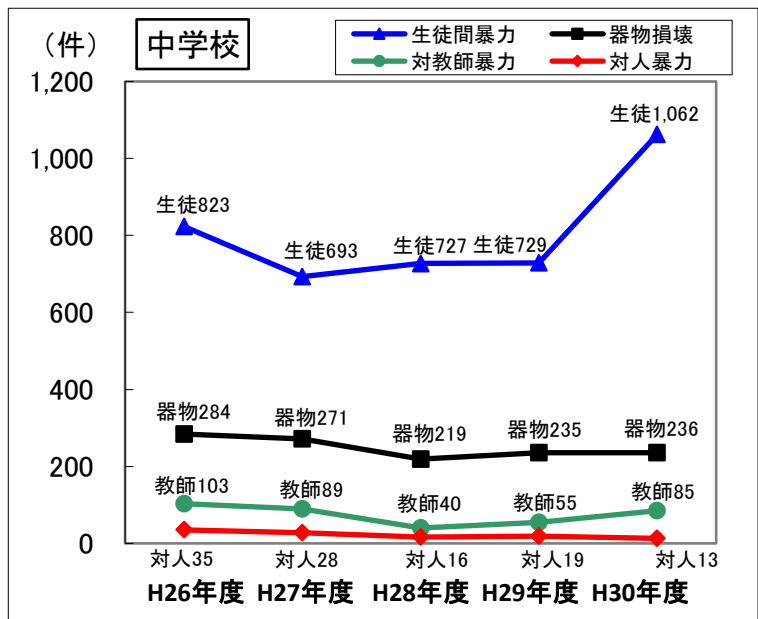
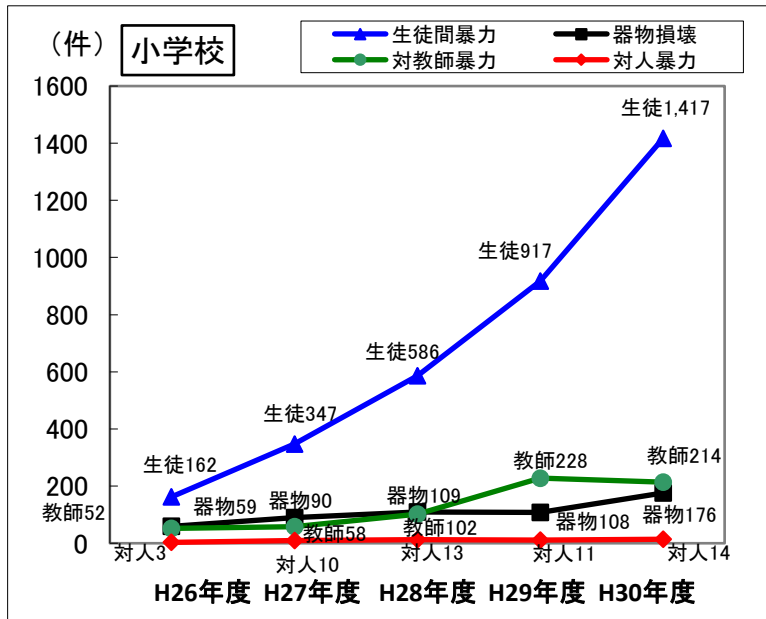
年度	小学校		中学校		高等学校		合計	
	発生件数	1,000人 当たり	発生件数	1,000人 当たり	発生件数	1,000人 当たり	発生件数	1,000人 当たり
H26年度	276	0.7	1,245	6.7	302	2.4	1,823	2.6
H27年度	505	1.4	1,081	5.8	292	2.3	1,878	2.7
H28年度	810	2.2	1,002	5.5	285	2.3	2,097	3.1
H29年度	1,264	3.4	1,038	5.7	259	2.1	2,561	3.8
H30年度	1,821	4.9	1,396	7.9	292	2.4	3,509	5.2



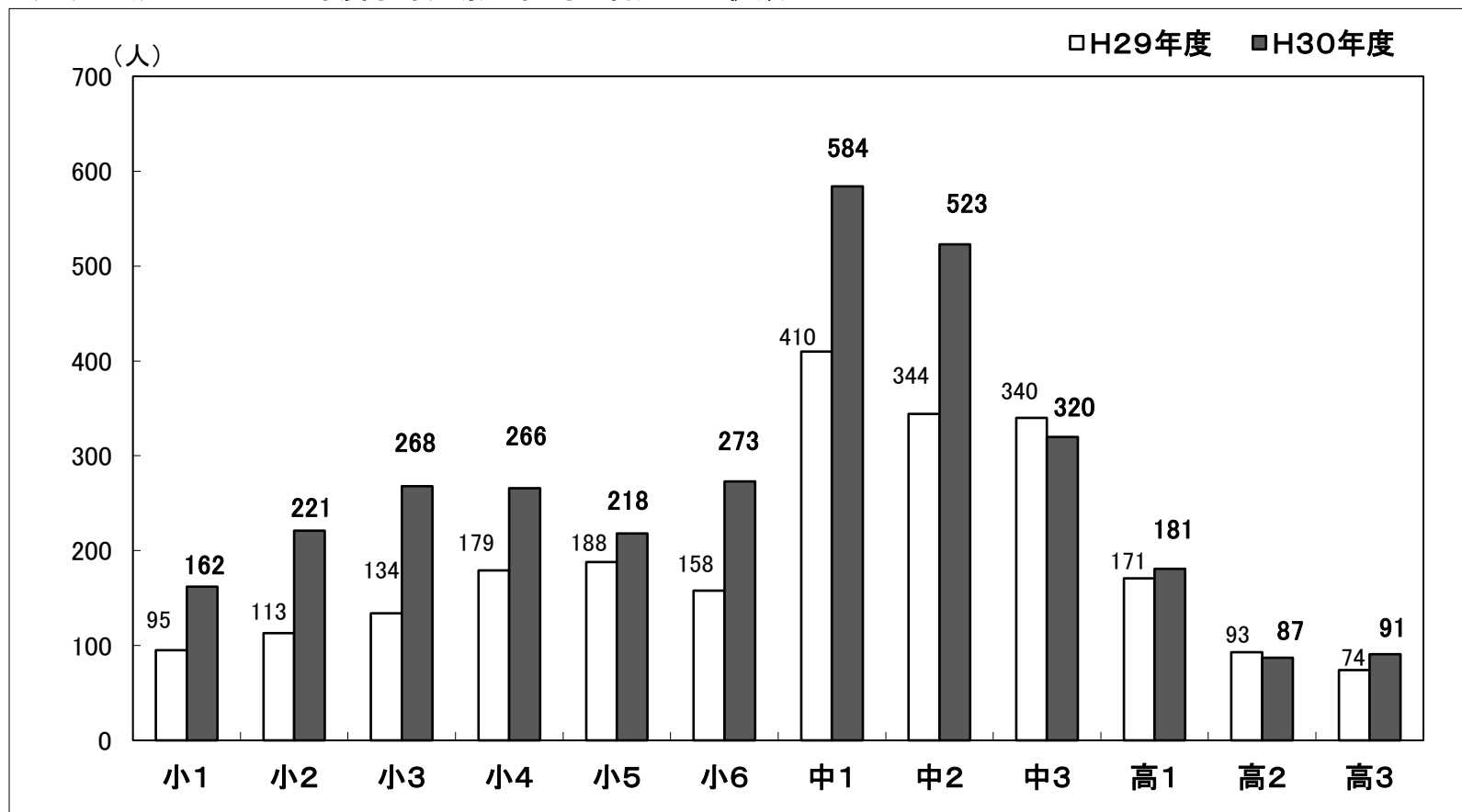
(2) 埼玉県公立学校と全国公立学校の1,000人当たりの暴力行為発生件数の比較



(3) 公立小・中・高等学校における暴力行為形態別発生件数の推移



(4) 平成29・30年度学年別暴力行為加害児童生徒数



※単位制の4年次以上、定時制の4年生以上は高3に含めています。

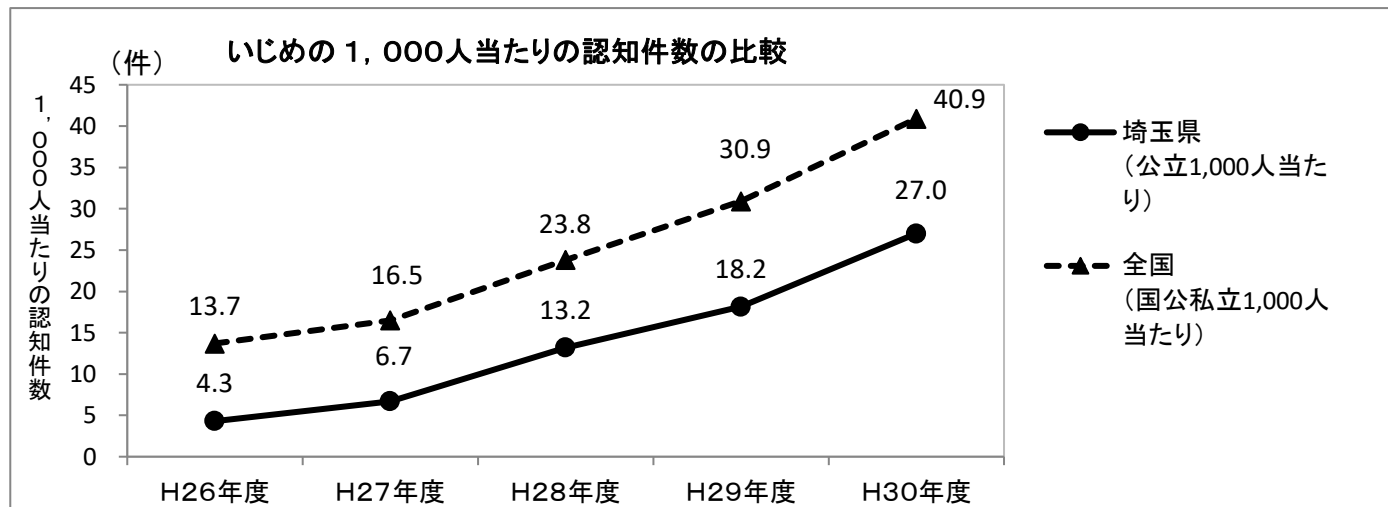
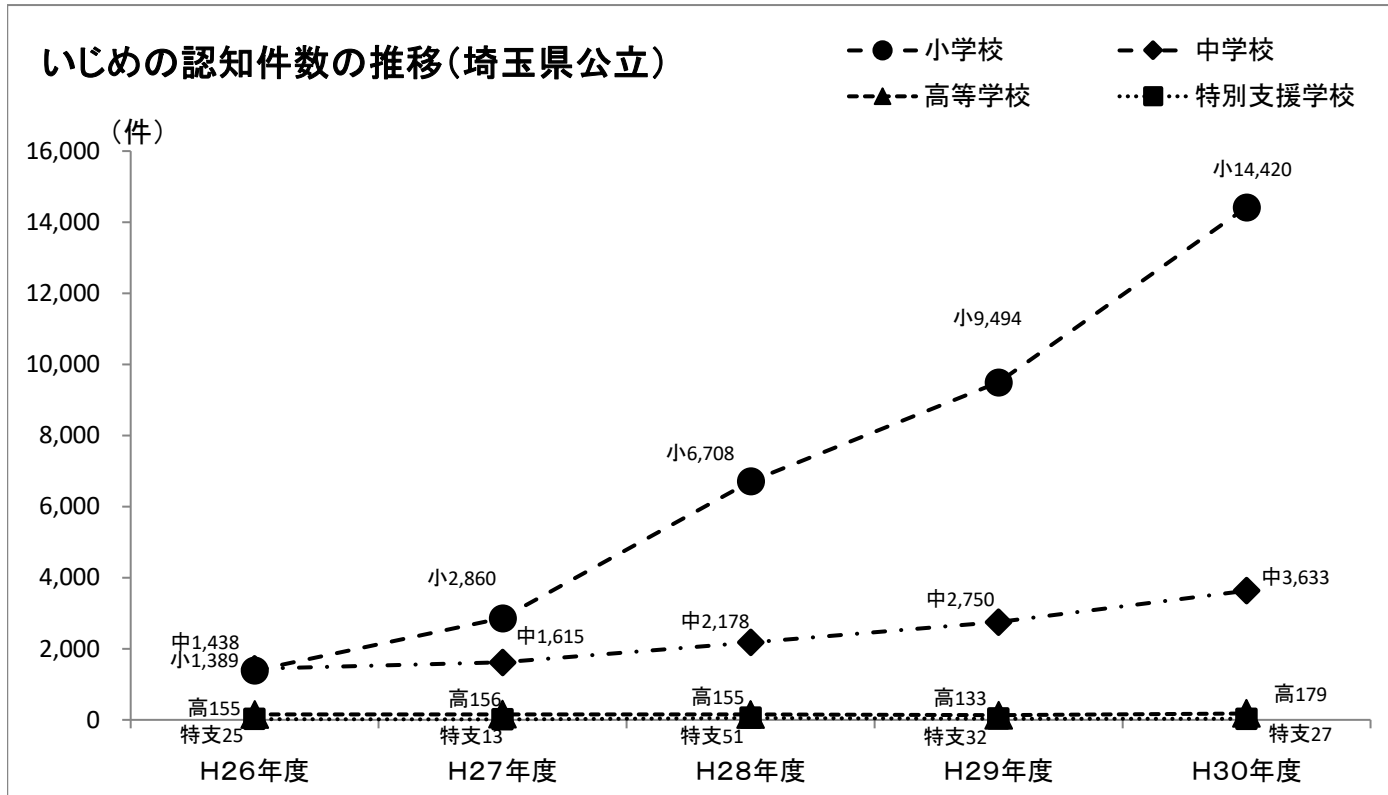
## 2 いじめの状況

### (1) いじめの認知件数の推移（過去5年）

関連資料

年度	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	認知件数	1,000人当たり	認知件数	1,000人当たり	認知件数	1,000人当たり	認知件数	1,000人当たり	認知件数	1,000人当たり
H26年度	1,389	3.7	1,438	7.7	155	1.2	25	3.6	3,007	4.3
H27年度	2,860	7.7	1,615	8.7	156	1.2	13	1.8	4,644	6.7
H28年度	6,708	18.0	2,178	11.9	155	1.2	51	7.0	9,092	13.2
H29年度	9,494	25.6	2,750	15.2	133	1.1	32	4.3	12,409	18.2
H30年度	14,420	39.0	3,633	20.5	179	1.5	27	3.5	18,259	27.0

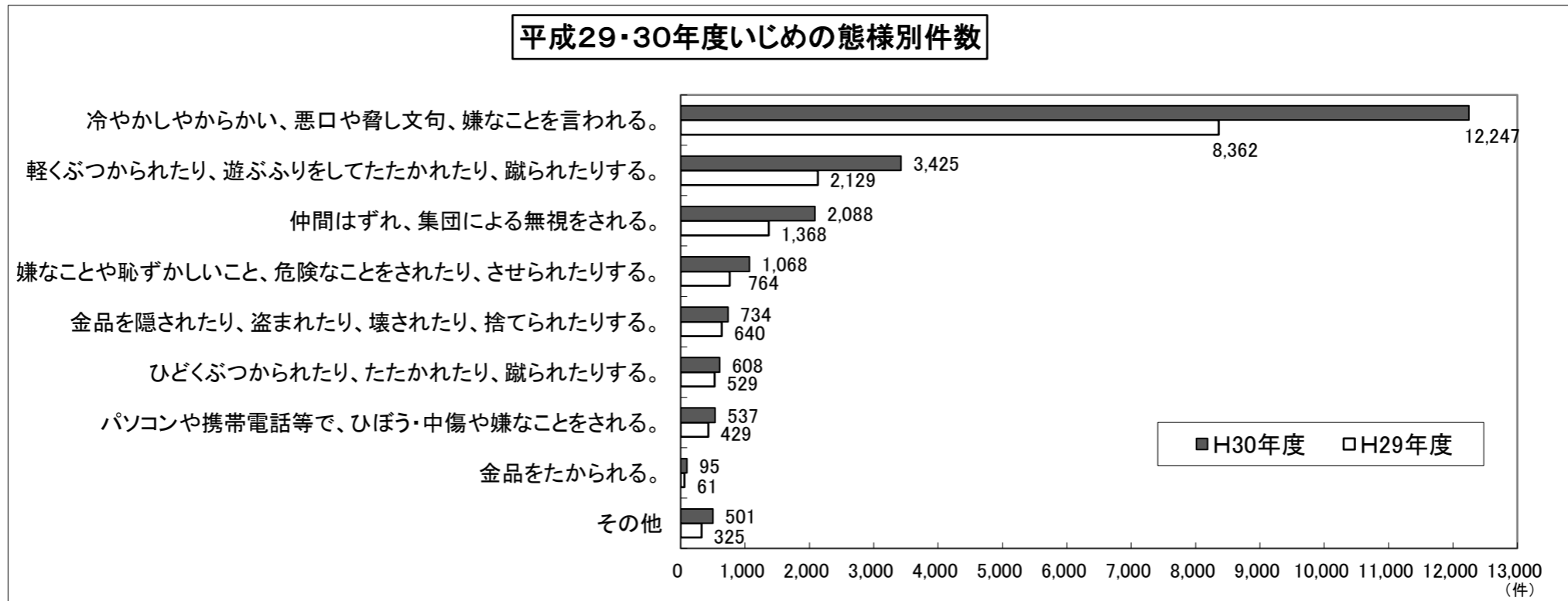
※いじめの認知件数は、いじめの被害児童生徒の実人数



### (2) いじめを認知した学校数の割合

		埼玉県 (公立)		全国 (公立)	
		認知した学校数	学校総数に対する割合	認知した学校数	学校総数に対する割合
H29年度	小	676	83.1%	15,615	78.7%
	中	367	88.4%	7,922	82.9%
	高	61	36.5%	2,539	61.5%
	特	9	20.5%	391	36.4%
	計	1,113	77.3%	26,467	76.5%
H30年度	小	754	93.0%	16,960	86.2%
	中	397	95.7%	8,361	87.7%
	高	76	46.1%	2,802	68.1%
	特	9	20.5%	467	43.2%
	計	1,236	86.1%	28,590	83.1%

(3) いじめの態様（小・中・高・特別支援学校の合計） ※複数回答可

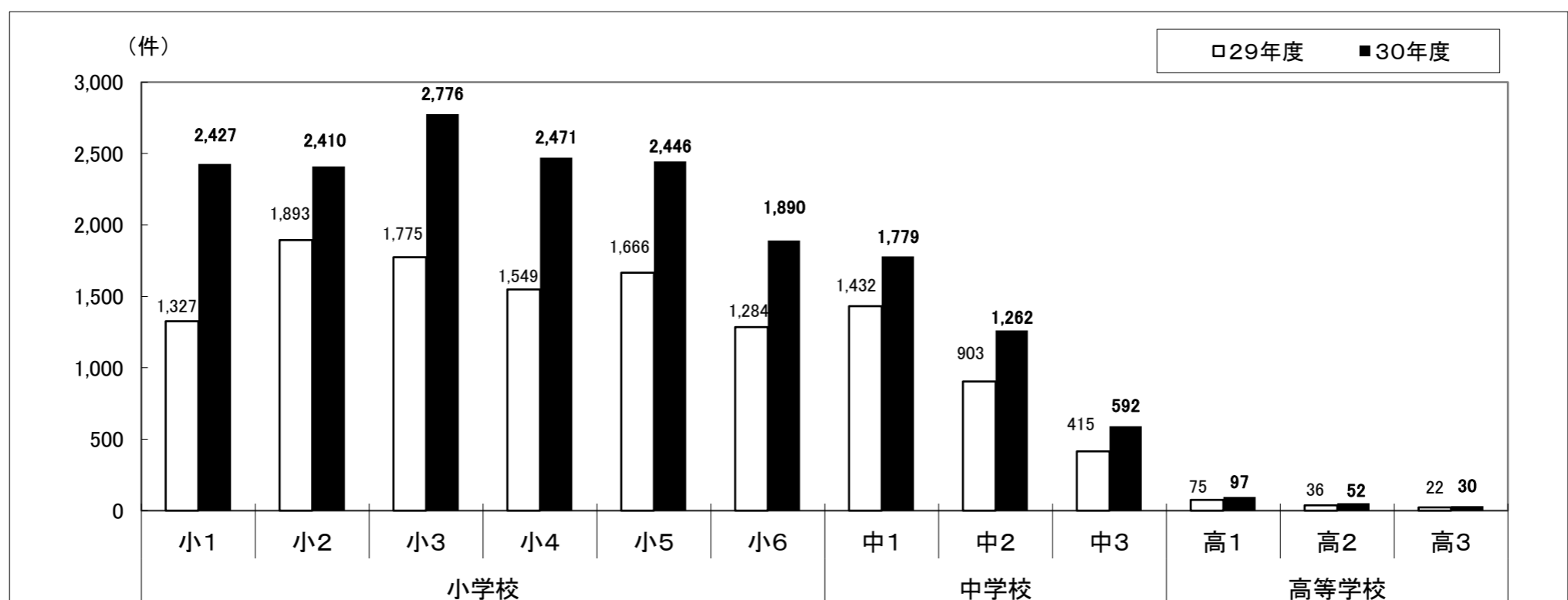


区分	30年度									
	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計	
	件数(件)	H29との差(件)	件数(件)	H29との差(件)	件数(件)	H29との差(件)	件数(件)	H29との差(件)	件数(件)	H29との差(件)
冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	9,558	3,294	2,548	552	124	33	17	6	12,247	3,885
仲間はずれ、集団による無視をされる。	1,646	629	415	88	26	2	1	1	2,088	720
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。	3,079	1,228	329	66	14	3	3	-1	3,425	1,296
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする。	510	74	85	11	11	10	2	-16	608	79
金品をたかられる。	58	14	29	15	8	5	0	0	95	34
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	596	90	134	12	4	-6	0	-2	734	94
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	913	291	137	3	17	11	1	-1	1,068	304
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	140	13	356	84	32	7	9	4	537	108
その他	403	145	97	37	1	-5	0	-1	501	176

(4) いじめの現在の状況（平成31年3月31日現在の状況）

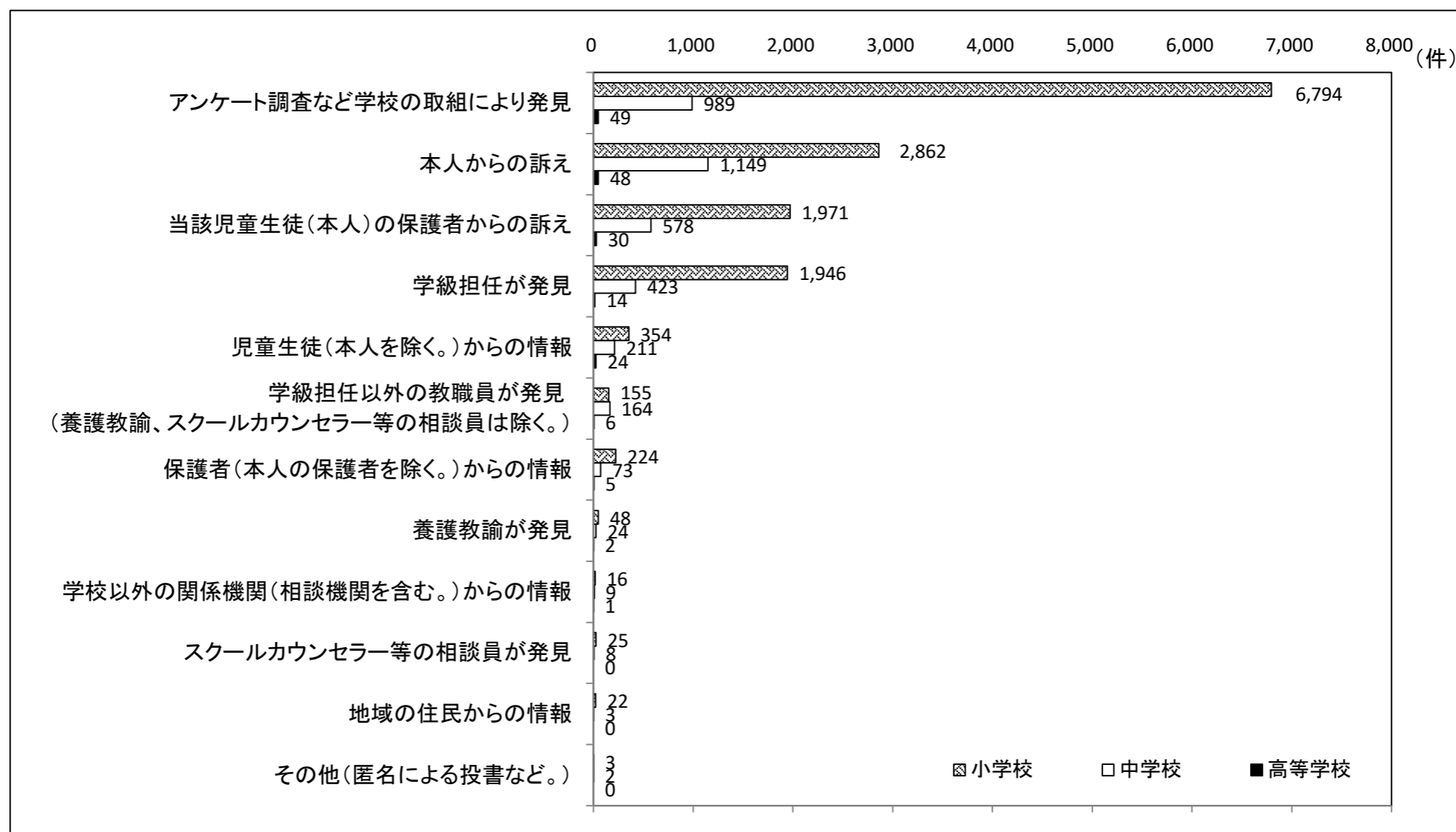
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
解消しているもの	11,576	2,994	157	27	14,754
解消に向けて取組中	2,836	634	16	0	3,486
その他	8	5	6	0	19
合計	14,420	3,633	179	27	18,259
解消率	80.3%	82.4%	87.7%	100.0%	80.8%

(5) 平成29・30年度 学年別いじめの認知件数 ※特別支援学校を除く。



※単位制の4年次以上、定時制の4年生以上は高3に含めています。

(6) いじめの発見のきっかけ（小・中・高等学校）※特別支援学校を除く。



(7) いじめのアンケート実施の効果（小・中・高・特別支援学校）

	アンケート実施校						アンケート未実施校					
	埼玉県(公立)			全国(公立)			埼玉県(公立)			全国(公立)		
	アンケート実施校数	いじめの認知学校数	割合	アンケート実施校数	いじめの認知学校数	割合	アンケート未実施校数	いじめの認知学校数	割合	アンケート未実施校数	いじめの認知学校数	割合
H29年度	1,423	1,110	78.0%	34,088	26,441	77.6%	16	3	18.8%	513	26	5.1%
<b>H30年度</b>	<b>1,422</b>	<b>1,233</b>	<b>86.7%</b>	<b>33,909</b>	<b>28,546</b>	<b>84.2%</b>	<b>13</b>	<b>3</b>	<b>23.1%</b>	<b>491</b>	<b>44</b>	<b>9.0%</b>

※数値は学校数、パーセンテージはアンケート実施校又は未実施校に対する割合。

(8) いじめの重大事態の発生件数

H29年度

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計	
重大事態発生校数(校)	2	4	14	0	20	
重大事態発生件数(件)	2	4	15	0	21	
	うち、第1号	1	4	8	0	13
	うち、第2号	1	0	11	0	12

H30年度

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計	
重大事態発生校数(校)	6	6	11	0	23	
重大事態発生件数(件)	6	6	11	0	23	
	うち、第1号	2	1	7	0	10
	うち、第2号	4	5	8	0	17

第1号…いじめにより児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。  
第2号…いじめにより児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

※1件の重大事態が、いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号及び同項第2号の両方に該当する場合は、それぞれ両方に計上されている。

(9) いじめ防止対策推進法を踏まえた自治体の取組（平成31年3月31日現在）

※割合については四捨五入しているため、合計が100%とならない場合がある。

ア 「地方いじめ防止基本方針」を策定した自治体数

区 分	埼玉県		全国	
	市町村	割合	市町村	割合
策定済み	62	98.4%	1,633	93.7%
策定に向けて検討中	1	1.6%	81	4.6%
策定するかどうかを検討	0	0.0%	28	1.6%
策定しない	0	0.0%	1	0.1%
計	63	100%	1,743	100%

イ 「いじめ問題対策連絡協議会」を設置した自治体数

区 分	埼玉県			全国			
	県	市町村	割合	都道府県	割合	市町村	割合
条例による設置	0	57	89.1%	25	53.2%	861	49.4%
条例による設置ではないが、法の趣旨を踏まえた会議体を設置	1	5	9.4%	22	46.8%	533	30.6%
設置に向けて検討中	0	1	1.6%	0	0.0%	193	11.1%
設置するかどうかを検討	0	0	0.0%	0	0.0%	105	6.0%
設置しない	0	0	0.0%	0	0.0%	51	2.9%
計	1	63	100%	47	100%	1,743	100%

ウ 「重大事態」の調査又は再調査を行うための機関を設置した自治体数

区 分	埼玉県					
	県		市町村			
	教育委員会の附属機関	地方公共団体の長の附属機関	教育委員会の附属機関	割合	地方公共団体の長の附属機関	割合
設置済み	1	1	60	95.2%	60	95.2%
設置に向けて検討中	0	0	3	4.8%	3	4.8%
設置するかどうかを検討	0	0	0	0.0%	0	0.0%
設置しない	0	0	0	0.0%	0	0.0%
計	1	1	63	100%	63	100%

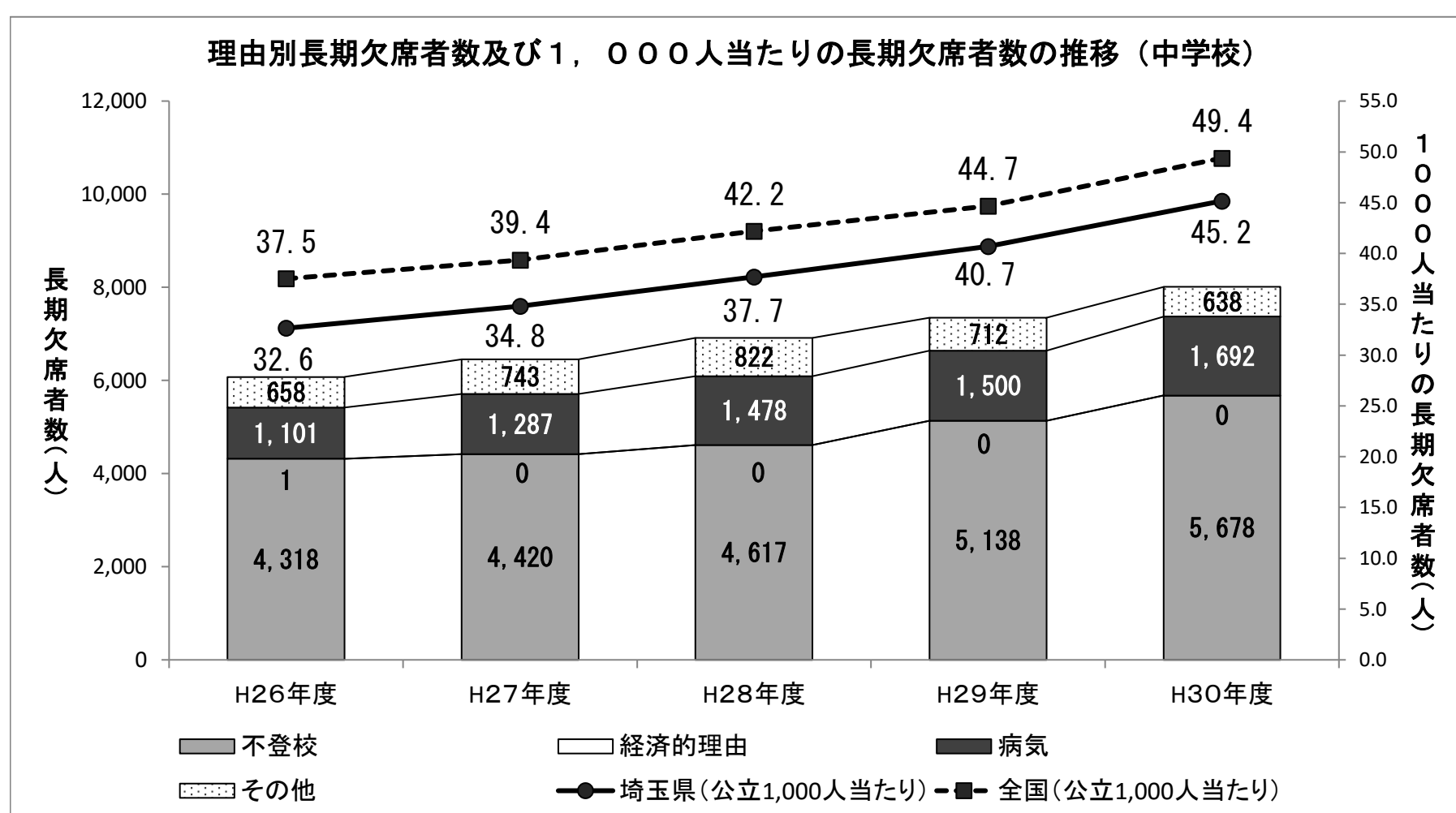
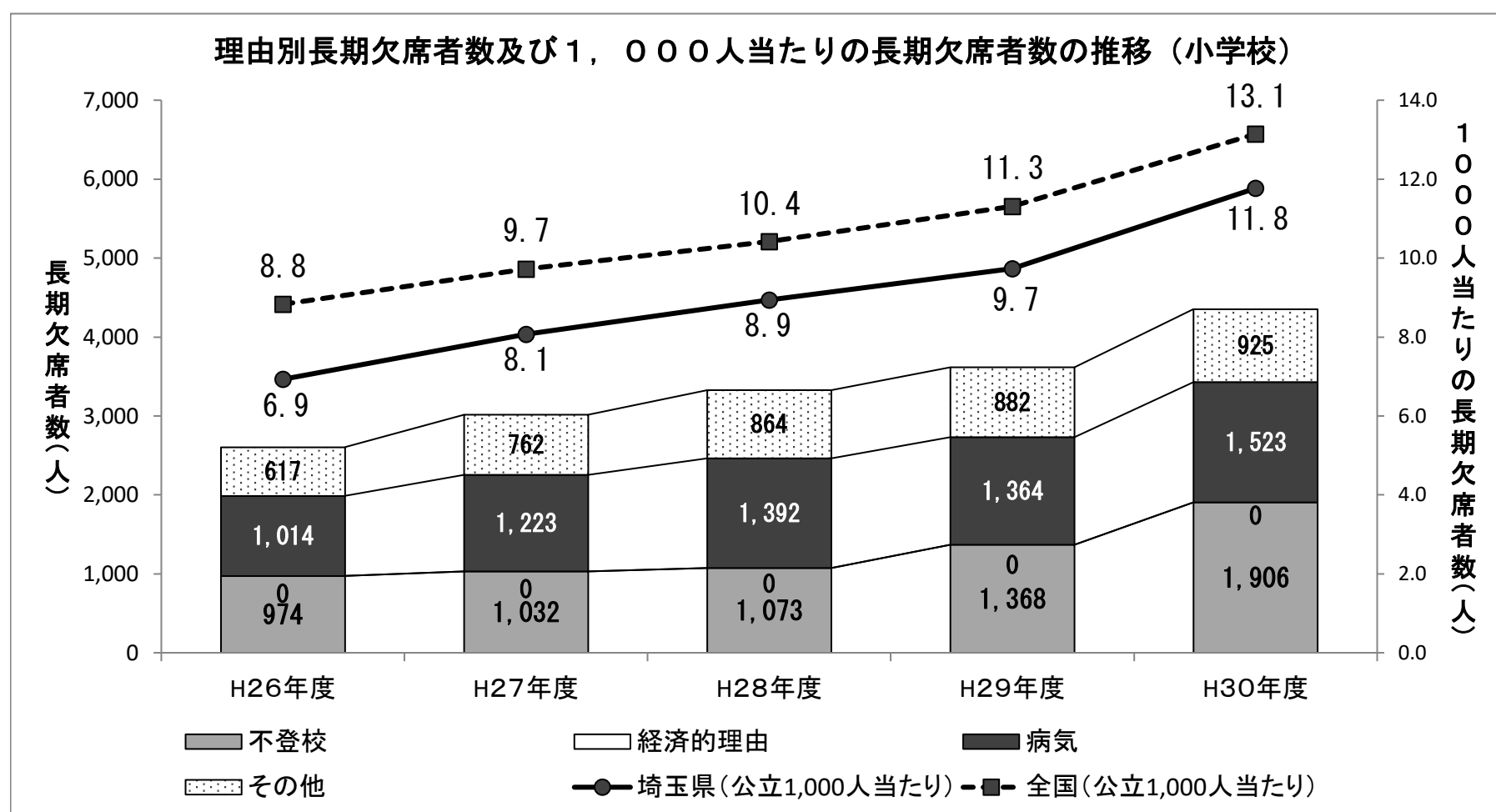
区 分	全国					
	都道府県		市町村			
	教育委員会の附属機関	地方公共団体の長の附属機関	教育委員会の附属機関	割合	地方公共団体の長の附属機関	割合
設置済み	39	44	1,169	67.0%	979	56.2%
設置に向けて検討中	0	0	284	16.3%	326	18.7%
設置するかどうかを検討	1	3	196	11.2%	291	16.7%
設置しない	7	0	95	5.4%	147	8.4%
計	47	47	1,744	100%	1,743	100%



### 3 小・中学校における長期欠席(不登校等)の状況

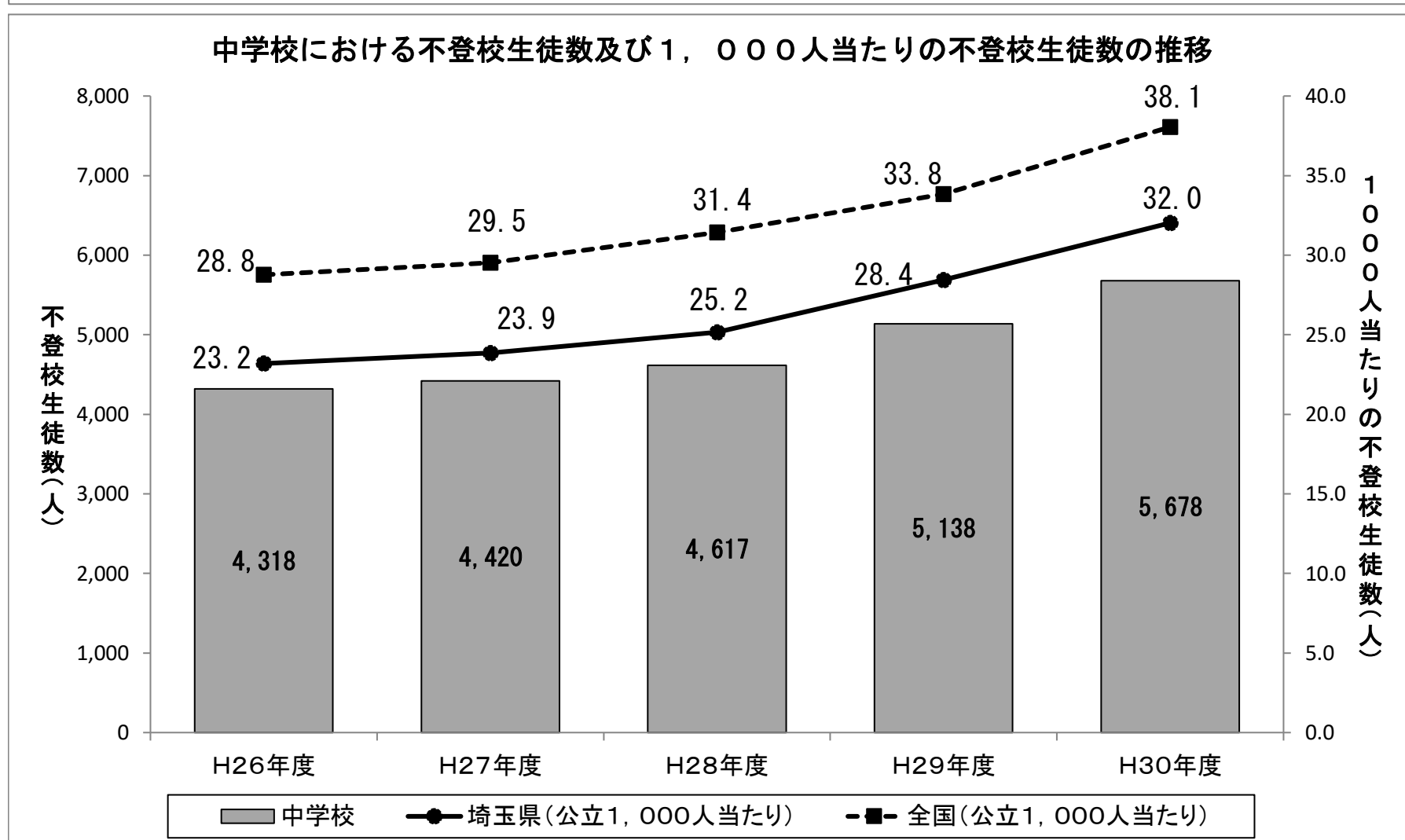
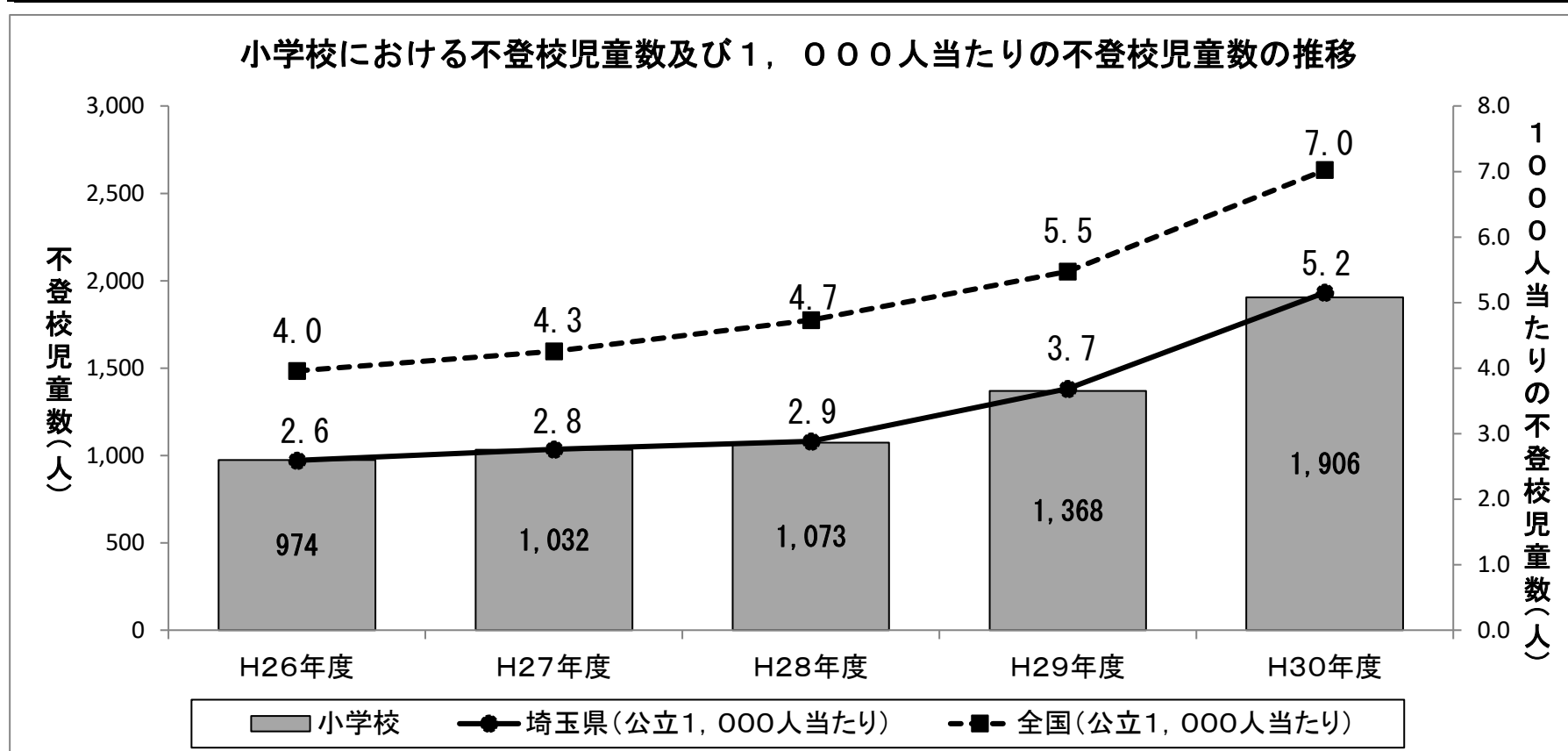
(1) 長期欠席児童生徒数(過去5年)

年度	埼玉県(公立)						全国(公立)					
	小学校		中学校		小・中合計		小学校		中学校		小・中合計	
	長期欠席者数	1,000人当たり	長期欠席者数	1,000人当たり	長期欠席者数	1,000人当たり	長期欠席者数	1,000人当たり	長期欠席者数	1,000人当たり	長期欠席者数	1,000人当たり
H26年度	2,605	6.9	6,078	32.6	8,683	15.4	57,232	8.8	121,458	37.5	178,690	18.4
H27年度	3,017	8.1	6,450	34.8	9,467	16.9	62,489	9.7	126,073	39.4	188,562	19.6
H28年度	3,329	8.9	6,917	37.7	10,246	18.4	66,433	10.4	132,885	42.2	199,318	20.9
H29年度	3,614	9.7	7,350	40.7	10,964	19.9	71,805	11.3	137,708	44.7	209,513	22.2
H30年度	4,354	11.8	8,008	45.2	12,362	22.6	83,256	13.1	148,440	49.4	231,696	24.8



(2) 小・中学校不登校児童生徒数（過去5年）

年度	埼玉県(公立)						全国(公立)					
	小学校		中学校		合計		小学校		中学校		合計	
	児童数	1,000人当たり	生徒数	1,000人当たり	児童生徒数	1,000人当たり	児童数	1,000人当たり	生徒数	1,000人当たり	児童生徒数	1,000人当たり
H26年度	974	2.6	4,318	23.2	5,292	9.4	25,645	4.0	93,142	28.8	118,787	12.2
H27年度	1,032	2.8	4,420	23.9	5,452	9.8	27,333	4.3	94,548	29.5	121,881	12.7
H28年度	1,073	2.9	4,617	25.2	5,690	10.2	30,172	4.7	98,944	31.4	129,116	13.6
H29年度	1,368	3.7	5,138	28.4	6,506	11.8	34,732	5.5	104,295	33.8	139,027	14.7
H30年度	1,906	5.2	5,678	32.0	7,584	13.9	44,471	7.0	114,379	38.1	158,850	17.0



(3) 学年別不登校児童生徒数（埼玉県公立）

平成30年度	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
不登校児童生徒数	94	139	223	345	506	599	1,523	2,033	2,122

(4) 不登校児童生徒の欠席・出席状況

平成30年度		欠席日数30～89日	欠席90日以上 出席日数11日以上	欠席90日以上 出席日数1～10日	欠席90日以上 出席日数0日	不登校 児童生徒数				
埼玉県 (公立)	小学校	952	49.9%	795	41.7%	91	4.8%	68	3.6%	1,906
	中学校	1,923	33.9%	2,960	52.1%	551	9.7%	244	4.3%	5,678
	合計	2,875	37.9%	3,755	49.5%	642	8.5%	312	4.1%	7,584
全国 (公立)	小学校	24,574	55.3%	16,757	37.7%	1,983	4.5%	1,157	2.6%	44,471
	中学校	41,797	36.5%	57,531	50.3%	10,328	9.0%	4,723	4.1%	114,379
	合計	66,371	41.8%	74,288	46.8%	12,311	7.8%	5,880	3.7%	158,850

(5) 不登校の要因

【小学校】

埼玉県 (公立)

※複数回答可

理由	分類別 児童数	学校に係る状況								家庭に係る 状況	左記に 該当なし
		いじめ	人間関係 をめぐ る除く る友	教職 員との 問題 関係	学業 の不 振	進路 に係 る不 安	活 動等 への 不適 部	学 校の きま り等 問題	進 入 学 時 の 転 入 不 適 学		
「学校における人間関係」 に課題を抱えている。	329	3	211	45	24	2	0	8	8	71	19
	17.3%	0.9%	64.1%	13.7%	7.3%	0.6%	0.0%	2.4%	2.4%	21.6%	5.8%
「あそび・非行」の傾向があ る。	26	0	3	0	2	0	0	4	2	22	1
	1.4%	0.0%	11.5%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%	84.6%	3.8%
「無気力」の傾向がある。	516	0	37	6	89	2	1	9	11	351	76
	27.1%	0.0%	7.2%	1.2%	17.2%	0.4%	0.2%	1.7%	2.1%	68.0%	14.7%
「不安」の傾向がある。	666	1	189	29	99	11	3	21	42	285	125
	34.9%	0.2%	28.4%	4.4%	14.9%	1.7%	0.5%	3.2%	6.3%	42.8%	18.8%
「その他」	369	0	9	11	22	0	0	5	12	257	78
	19.4%	0.0%	2.4%	3.0%	6.0%	0.0%	0.0%	1.4%	3.3%	69.6%	21.1%
計	1,906	4	449	91	236	15	4	47	75	986	299

全国 (公立)

理由	分類別 児童数	学校に係る状況								家庭に係る 状況	左記に 該当なし
		いじめ	人間関係 をめぐ る除く る友	教職 員との 問題 関係	学業 の不 振	進路 に係 る不 安	活 動等 への 不適 部	学 校の きま り等 問題	進 入 学 時 の 転 入 不 適 学		
「学校における人間関係」 に課題を抱えている。	6,170	252	4,121	1,003	505	68	15	147	239	1,463	196
	13.9%	4.1%	66.8%	16.3%	8.2%	1.1%	0.2%	2.4%	3.9%	23.7%	3.2%
「あそび・非行」の傾向があ る。	493	0	47	14	79	4	0	33	10	393	40
	1.1%	0.0%	9.5%	2.8%	16.0%	0.8%	0.0%	6.7%	2.0%	79.7%	8.1%
「無気力」の傾向がある。	11,895	12	898	193	2,610	96	24	278	320	8,358	1,253
	26.7%	0.1%	7.5%	1.6%	21.9%	0.8%	0.2%	2.3%	2.7%	70.3%	10.5%
「不安」の傾向がある。	15,942	60	4,097	612	2,832	270	56	528	1,153	7,271	2,523
	35.8%	0.4%	25.7%	3.8%	17.8%	1.7%	0.4%	3.3%	7.2%	45.6%	15.8%
「その他」	9,971	14	482	148	735	39	4	149	276	7,278	2,084
	22.4%	0.1%	4.8%	1.5%	7.4%	0.4%	0.0%	1.5%	2.8%	73.0%	20.9%
計	44,471	338	9,645	1,970	6,761	477	99	1,135	1,998	24,763	6,096

【中学校】  
埼玉県（公立）

※複数回答可

理由 本人に係る要因	分類別児童数	学校に係る状況								家庭に係る状況	左記に該当なし
		いじめ	人間関係をめぐる友人	教職員との関係	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動への参加	学校生活の問題	進級時の転編入		
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	1,287 22.7%	3 0.2%	899 69.9%	63 4.9%	132 10.3%	13 1.0%	64 5.0%	8 0.6%	86 6.7%	95 7.4%	48 3.7%
「あそび・非行」の傾向がある。	168 3.0%	0 0.0%	7 4.2%	3 1.8%	38 22.6%	1 0.6%	4 2.4%	18 10.7%	2 1.2%	96 57.1%	20 11.9%
「無気力」の傾向がある。	1,854 32.7%	0 0.0%	191 10.3%	13 0.7%	655 35.3%	39 2.1%	31 1.7%	29 1.6%	116 6.3%	567 30.6%	390 21.0%
「不安」の傾向がある。	1,498 26.4%	0 0.0%	485 32.4%	15 1.0%	303 20.2%	65 4.3%	38 2.5%	13 0.9%	103 6.9%	313 20.9%	318 21.2%
「その他」	871 15.3%	1 0.1%	80 9.2%	3 0.3%	69 7.9%	19 2.2%	4 0.5%	7 0.8%	53 6.1%	326 37.4%	356 40.9%
計	5,678	4	1,662	97	1,197	137	141	75	360	1,397	1,132

全 国（公立）

理由 本人に係る要因	分類別児童数	学校に係る状況								家庭に係る状況	左記に該当なし
		いじめ	人間関係をめぐる友人	教職員との関係	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動への参加	学校生活の問題	進級時の転編入		
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	21,145 18.5%	438 2.1%	15,727 74.4%	1,301 6.2%	2,311 10.9%	478 2.3%	1,022 4.8%	381 1.8%	1,178 5.6%	2,690 12.7%	519 2.5%
「あそび・非行」の傾向がある。	4,633 4.1%	4 0.1%	443 9.6%	168 3.6%	1,313 28.3%	145 3.1%	56 1.2%	1,317 28.4%	115 2.5%	2,372 51.2%	359 7.7%
「無気力」の傾向がある。	34,974 30.6%	43 0.1%	4,393 12.6%	442 1.3%	12,477 35.7%	1,774 5.1%	737 2.1%	1,200 3.4%	2,318 6.6%	13,705 39.2%	4,762 13.6%
「不安」の傾向がある。	36,781 32.2%	80 0.2%	12,281 33.4%	779 2.1%	9,323 25.3%	3,121 8.5%	1,013 2.8%	690 1.9%	3,901 10.6%	9,509 25.9%	4,324 11.8%
「その他」	16,846 14.7%	28 0.2%	1,803 10.7%	239 1.4%	2,132 12.7%	523 3.1%	228 1.4%	375 2.2%	1,098 6.5%	7,638 45.3%	5,015 29.8%
計	114,379	593	34,647	2,929	27,556	6,041	3,056	3,963	8,610	35,914	14,979

（6）不登校児童生徒への指導結果状況（埼玉県公立）

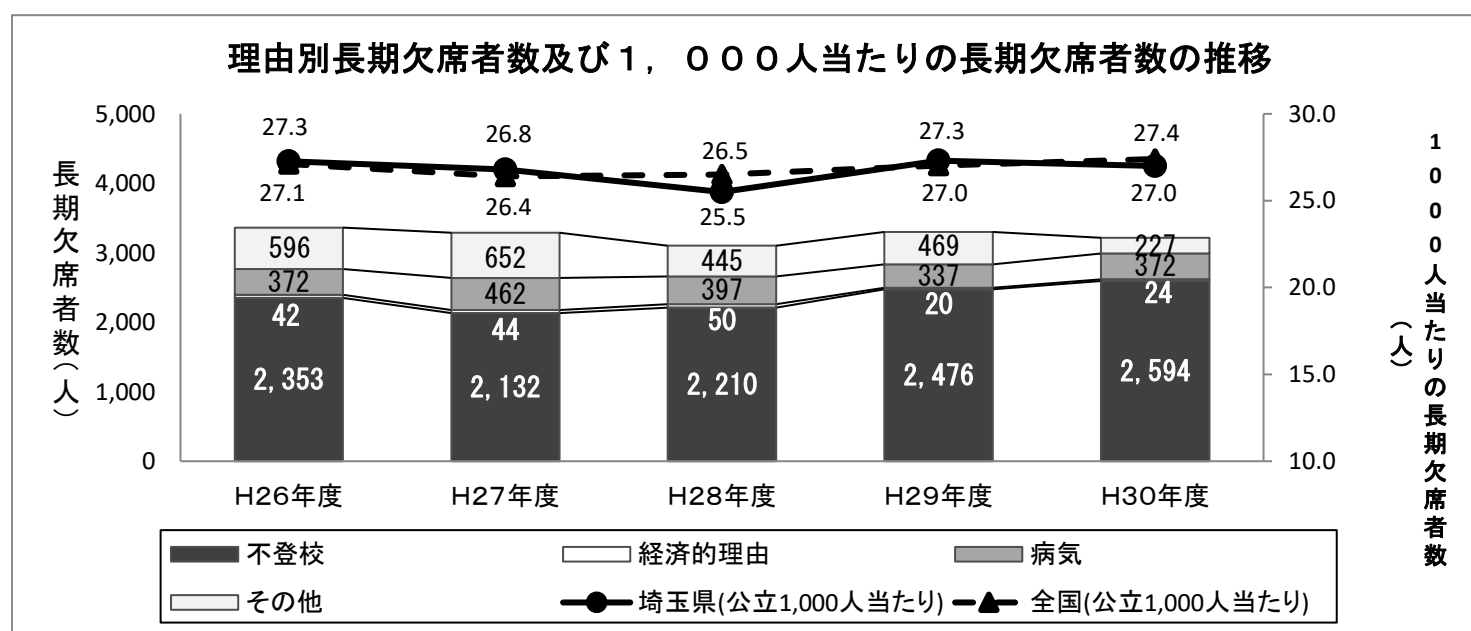
平成30年度

区 分	小学校		中学校	
	児童数	割合(%)	生徒数	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	471	24.7	1,363	24.0
指導中の児童生徒	1,435	75.3	4,315	76.0
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童生徒	460	24.1	1,214	21.4
計	1,906	100.0	5,678	100.0

#### 4 高等学校における長期欠席(不登校等)の状況

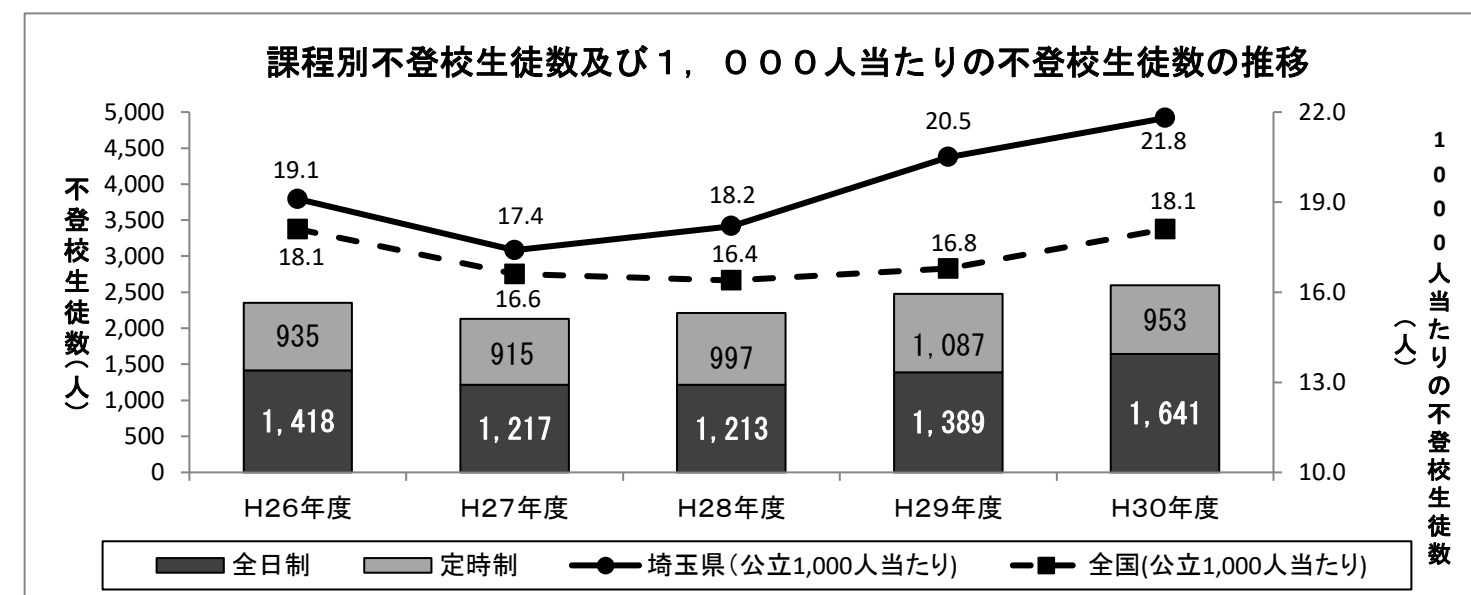
##### (1) 長期欠席者数の推移(過去5年)

区分	全日制		定時制		全・定合計		全国(公立)	
	長期欠席者数	1,000人当たり	長期欠席者数	1,000人当たり	長期欠席者数	1,000人当たり	長期欠席者数	1,000人当たり
H26年度	1,805	15.3	1,558	274.0	3,363	27.3	62,183	27.1
H27年度	1,813	15.5	1,477	273.7	3,290	26.8	59,966	26.4
H28年度	1,731	14.8	1,371	271.9	3,102	25.5	59,973	26.5
H29年度	1,964	16.9	1,338	276.7	3,302	27.3	60,320	27.0
H30年度	2,102	18.3	1,115	241.9	3,217	27.0	60,045	27.4



##### (2) 不登校生徒数及び1,000人当たりの不登校生徒数(過去5年)

区分 年度	全日制		定時制		全・定合計		全国(公立)	
	不登校生徒数	1,000人当たり	不登校生徒数	1,000人当たり	不登校生徒数	1,000人当たり	不登校生徒数	1,000人当たり
H26年度	1,418	12.1	935	164.4	2,353	19.1	41,555	18.1
H27年度	1,217	10.4	915	169.5	2,132	17.4	37,793	16.6
H28年度	1,213	10.4	997	197.7	2,210	18.2	37,049	16.4
H29年度	1,389	12.0	1,087	224.8	2,476	20.5	37,493	16.8
H30年度	1,641	14.3	953	206.8	2,594	21.8	39,623	18.1



(3) 学年別不登校生徒数 (人)

	1年生	2年生	3年生	4年生	単位制	合計
全日制	587	486	268		300	1,641
定時制	56	55	75	57	710	953

(4) 不登校生徒の欠席・出席状況 (人)

区分	欠席日数30～89日		欠席90日以上 出席日数11日以上		欠席90日以上 出席日数1～10日		欠席90日以上 出席日数0日		不登校生徒数
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
埼玉	2,129	82.1%	411	15.8%	42	1.6%	12	0.5%	2,594
全国(公立)	30,634	77.3%	7,201	18.2%	1,193	3.0%	595	1.5%	39,623

\*パーセンテージは、各区分における不登校生徒数に対する割合。

(5) 不登校の要因

【埼玉県】

※複数回答可

理由 (区分)  本人に係る 要因 (分類)	分類別 生徒数	学校に係る状況								家庭に 係る状況	左記に 該当なし
		いじめ	いじめを めぐる 友人 関係	教職 員との 関係 を めぐる 問題	学業の 不振	進路に 係る 不安	クラブ 活動、 部活 等への 不適応	学校の きまり 等を めぐる 問題	進学、 転編 不適 応		
「学校における人間関係」 に課題を抱えている。	386	8	245	2	17	5	20	25	29	19	27
	14.9%	2.1%	63.5%	0.5%	4.4%	1.3%	5.2%	6.5%	7.5%	4.9%	7.0%
「あそび・非行」の傾向が ある。	537	0	14	1	92	0	2	102	49	28	249
	20.7%	0.0%	2.6%	0.2%	17.1%	0.0%	0.4%	19.0%	9.1%	5.2%	46.4%
「無気力」の傾向がある。	946	0	49	0	376	24	4	64	149	84	204
	36.5%	0.0%	5.2%	0.0%	39.7%	2.5%	0.4%	6.8%	15.8%	8.9%	21.6%
「不安」の傾向がある。	312	1	45	0	73	72	9	5	39	27	66
	12.0%	0.3%	14.4%	0.0%	23.4%	23.1%	2.9%	1.6%	12.5%	8.7%	21.2%
「その他」	413	0	10	0	12	3	1	1	30	35	324
	15.9%	0.0%	2.4%	0.0%	2.9%	0.7%	0.2%	0.2%	7.3%	8.5%	78.5%
計	2,594	9	363	3	570	104	36	197	296	193	870

【全国(公立)】

理由 (区分)  本人に係る 要因 (分類)	分類別 生徒数	学校に係る状況								家庭に 係る状況	左記に 該当なし
		いじめ	いじめを めぐる 友人 関係	教職 員との 関係 を めぐる 問題	学業の 不振	進路に 係る 不安	クラブ 活動、 部活 等への 不適応	学校の きまり 等を めぐる 問題	進学、 転編 不適 応		
「学校における人間関係」 に課題を抱えている。	5,665	93	3,883	157	475	208	262	144	526	368	273
	14.3%	1.6%	68.5%	2.8%	8.4%	3.7%	4.6%	2.5%	9.3%	6.5%	4.8%
「あそび・非行」の傾向が ある。	4,170	0	306	38	1,034	105	19	721	515	655	1,222
	10.5%	0.0%	7.3%	0.9%	24.8%	2.5%	0.5%	17.3%	12.4%	15.7%	29.3%
「無気力」の傾向がある。	13,814	1	755	117	3,564	922	109	471	2,388	1,766	4,963
	34.9%	0.0%	5.5%	0.8%	25.8%	6.7%	0.8%	3.4%	17.3%	12.8%	35.9%
「不安」の傾向がある。	8,453	12	1,371	100	1,635	1,817	189	97	1,384	1,314	1,716
	21.3%	0.1%	16.2%	1.2%	19.3%	21.5%	2.2%	1.1%	16.4%	15.5%	20.3%
「その他」	7,521	2	184	27	615	357	64	107	712	1,673	4,215
	19.0%	0.0%	2.4%	0.4%	8.2%	4.7%	0.9%	1.4%	9.5%	22.2%	56.0%
計	39,623	108	6,499	439	7,323	3,409	643	1,540	5,525	5,776	12,389

(6) 不登校生徒への指導結果状況(埼玉県公立)

区分	全日制		定時制		合計	
	生徒数	割合(%)	生徒数	割合(%)	生徒数	割合(%)
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	811	49.4	327	34.3	1,138	43.9
指導中の生徒	830	50.6	626	65.7	1,456	56.1
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒	110	6.7	75	7.9	185	7.1
計	1,641	100.0	953	100.0	2,594	100.0

## 5 高等学校における中途退学の状況

### (1) 平成30年度中途退学者の状況

区 分		全 日 制	定 時 制	通 信 制	全・定合計	全・定・通合計
在 籍 生 徒 数 〈対前年度比増減〉		114,574 〈-1,554〉	4,598 〈-240〉	2,920 〈-154〉	119,172 〈-1,794〉	122,092 〈-1,948〉
中 途 退 学 者 数 〈対前年度比増減〉		1,053 〈-2〉	333 〈-54〉	26 〈-1〉	1,386 〈-56〉	1,412 〈-57〉
中 途 退 学 率 ( % ) 〈対前年度比増減〉		0.9 〈±0.0〉	7.2 〈-0.8〉	0.9 〈±0.0〉	1.2 〈±0.0〉	1.2 〈±0.0〉
中途退学者の 課程別構成比 (%)	1 年 生	48.6	9.9		39.3	38.6
	2 年 生	27.0	6.9		22.2	21.7
	3 年 生	8.8	8.1		8.7	8.5
	4 年 生		2.1		0.5	0.5
	単 位 制	15.6	73.0	100.0	29.4	30.7

※ 在籍生徒数は、平成30年4月1日現在（1年生は入学日現在）

### (2) 理由別中途退学者数の推移（過去5年）

区分	学業不振		学校生活・ 学業不適応		進路変更		その他		
	退学者数	構成比(%)	退学者数	構成比(%)	退学者数	構成比(%)	退学者数	構成比(%)	
全 日 制	26年度	225	17.5	673	52.3	291	22.6	97	7.5
	27年度	227	19.0	643	53.8	213	17.8	113	9.4
	28年度	209	19.3	610	56.2	153	14.1	113	10.4
	29年度	174	16.5	632	59.9	147	13.9	102	9.7
	<b>30年度</b>	<b>224</b>	<b>21.3</b>	<b>575</b>	<b>54.6</b>	<b>143</b>	<b>13.6</b>	<b>111</b>	<b>10.5</b>
定 時 制	26年度	68	11.5	310	52.5	109	18.5	103	17.5
	27年度	114	20.5	273	49.0	89	16.0	81	14.5
	28年度	15	3.7	225	55.6	111	27.4	54	13.3
	29年度	39	10.1	211	54.5	91	23.5	46	11.9
	<b>30年度</b>	<b>43</b>	<b>12.9</b>	<b>188</b>	<b>56.5</b>	<b>69</b>	<b>20.7</b>	<b>33</b>	<b>9.9</b>
通 信 制	26年度	0	0.0	6	11.3	35	66.0	12	22.6
	27年度	0	0.0	6	12.8	35	74.5	6	12.8
	28年度	0	0.0	4	12.9	21	67.7	6	19.4
	29年度	0	0.0	3	11.1	18	66.7	6	22.2
	<b>30年度</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	<b>25</b>	<b>96.2</b>	<b>1</b>	<b>3.8</b>
合 計	26年度	293	15.2	989	51.3	435	22.6	212	11.0
	27年度	341	18.9	922	51.2	337	18.7	200	11.1
	28年度	224	14.7	839	55.2	285	18.7	173	11.4
	29年度	213	14.5	846	57.6	256	17.4	154	10.5
	<b>30年度</b>	<b>267</b>	<b>18.9</b>	<b>763</b>	<b>54.0</b>	<b>237</b>	<b>16.8</b>	<b>145</b>	<b>10.3</b>

### (3) 埼玉県及び全国の公立高等学校における中途退学者の推移

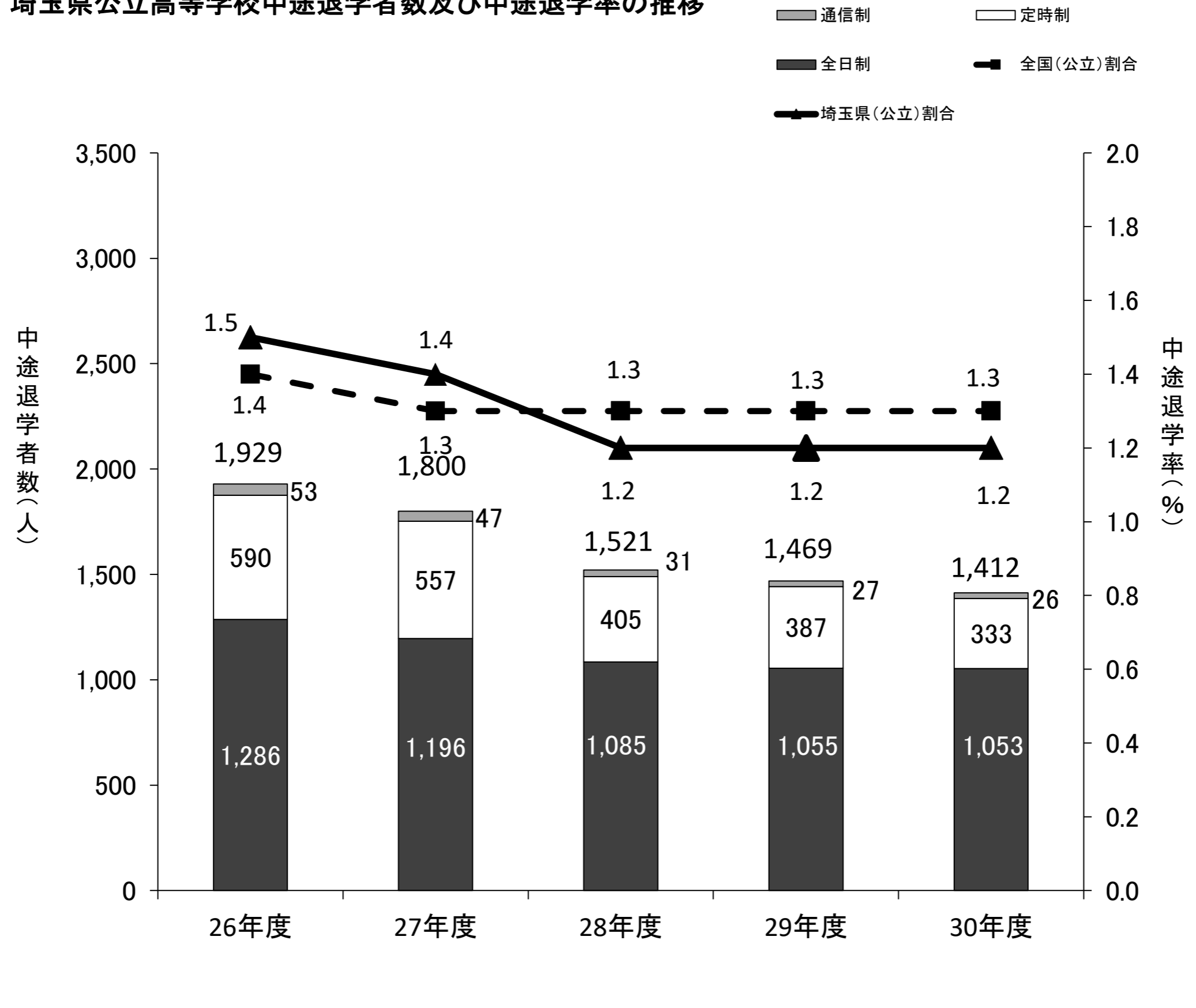
区分	埼玉県（公立）			全国（公立）		
	在籍生徒数	退学者数	退学率(%)	在籍生徒数	退学者数	退学率(%)
26年度	127,463	1,929	1.5	—	33,982	1.4
27年度	126,335	1,800	1.4	—	31,083	1.3
28年度	124,760	1,521	1.2	—	29,531	1.3
29年度	124,040	1,469	1.2	—	28,929	1.3
30年度	122,092	1,412	1.2	—	28,513	1.3

※ 全国の在籍生徒数は公表されていない。

※ 全日制・定時制・通信制の合計。

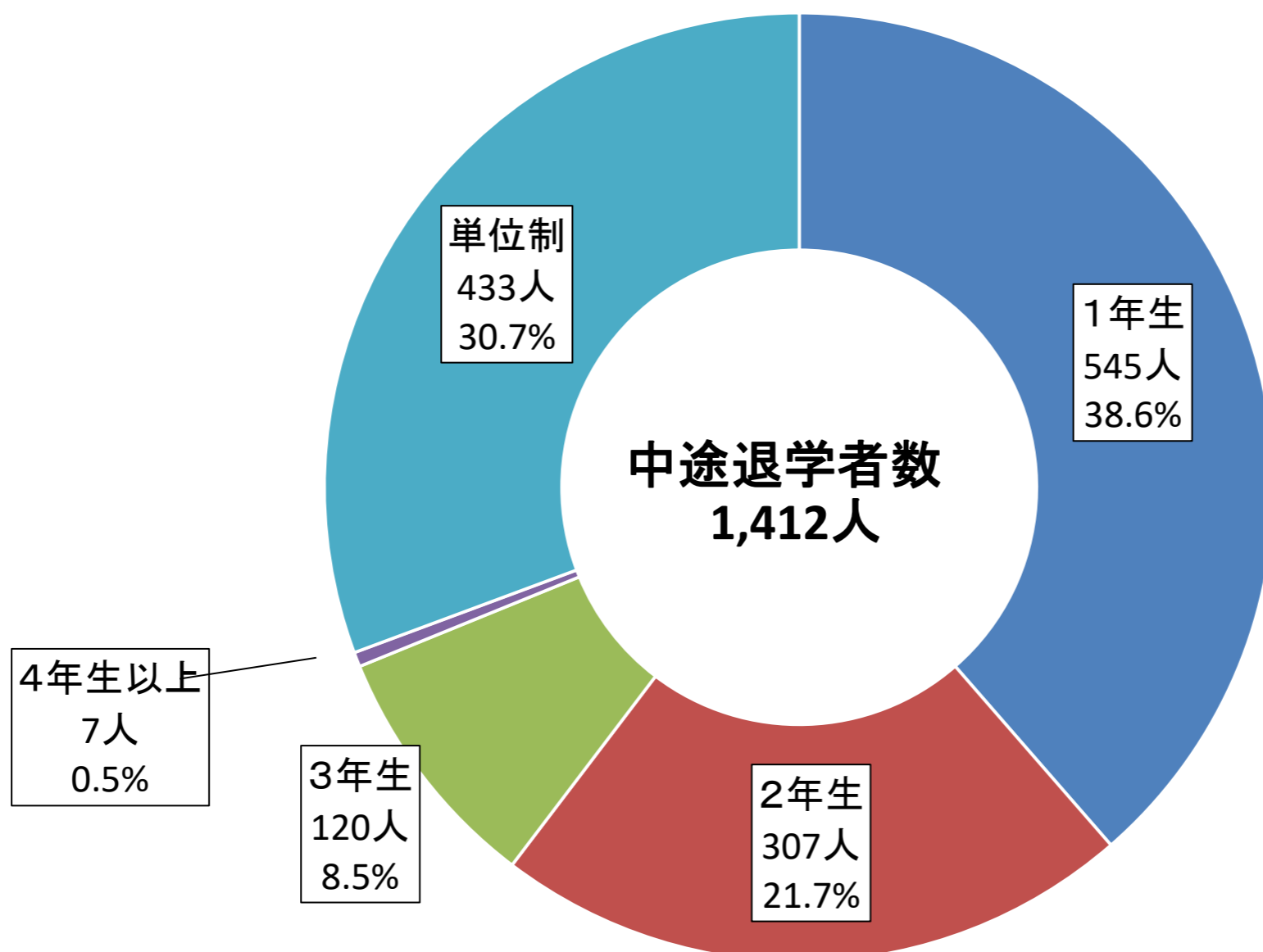
※ 高等学校には中等教育学校後期課程を含む。

埼玉県公立高等学校中途退学者数及び中途退学率の推移

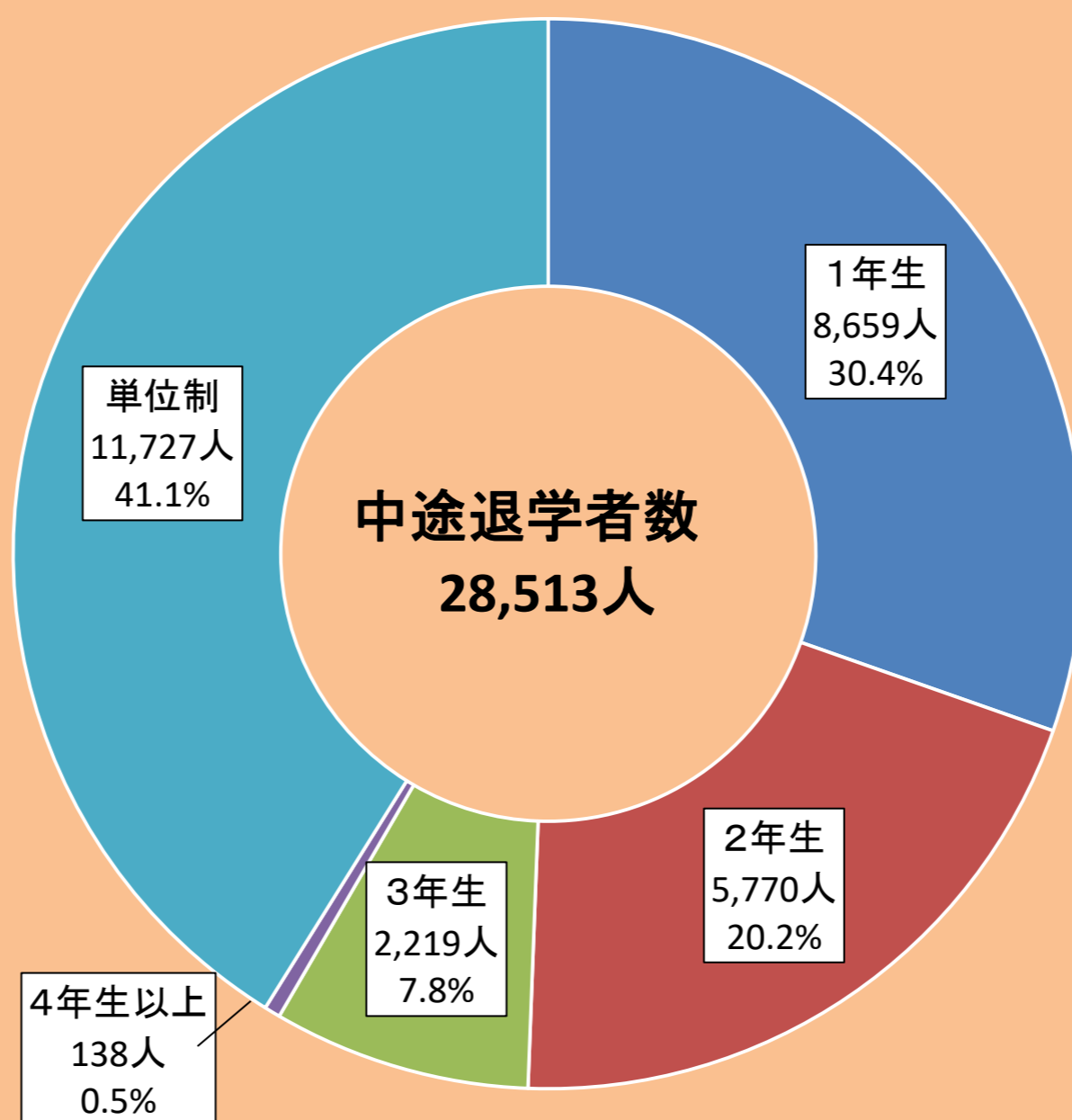




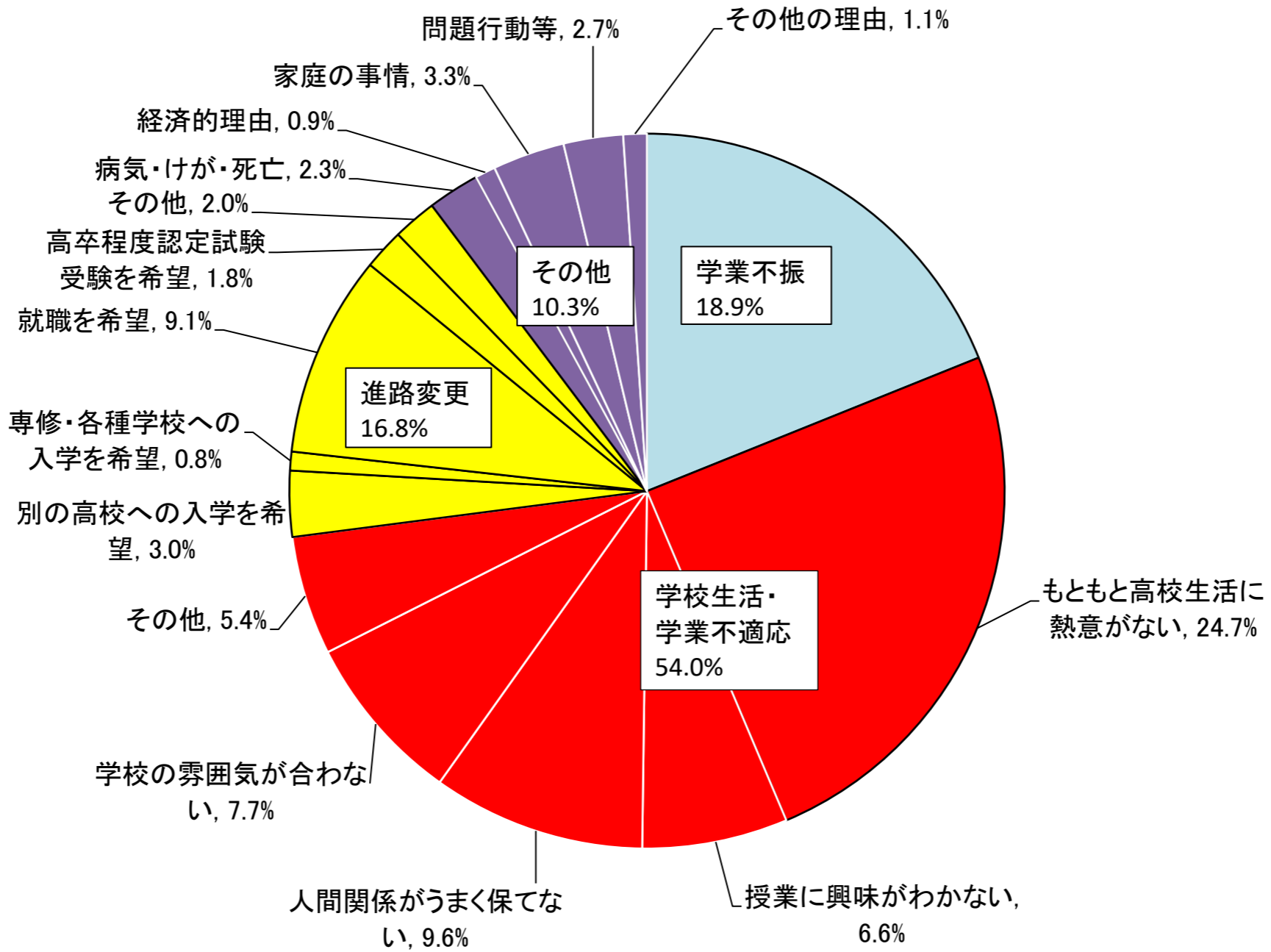
### H30年度 中途退学者の学年別割合(埼玉県公立)



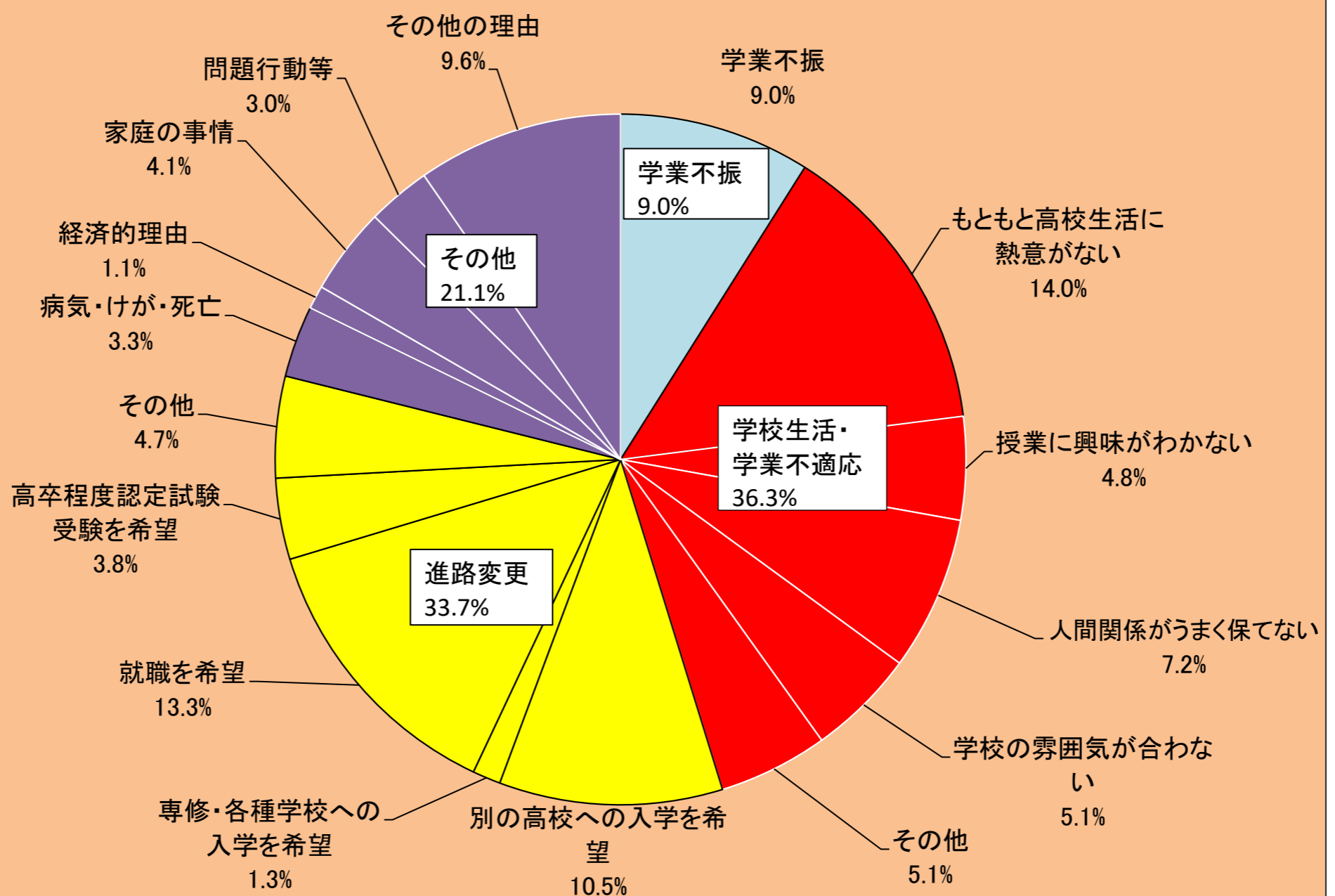
### H30年度 中途退学者の学年別割合(全国公立)



### H30年度 中途退学理由別構成比(埼玉県公立)



### H30年度 中途退学理由別構成比(全国公立)



## 6 自殺の状況

児童生徒の自殺者数の推移（過去5年間）

年度	小学校	中学校	高等学校	合計
H26年度	0	2	5	7
H27年度	0	0	5	5
H28年度	0	1	3	4
H29年度	1	4	4	9
H30年度	0	8	12	20

## 7 出席停止の状況

児童生徒の出席停止の推移（過去5年間）

年度	小学校	中学校	合計
H26年度	0	0	0
H27年度	0	0	0
H28年度	0	0	0
H29年度	0	1	1
H30年度	0	0	0

## 県の主な取組

### ○スクールカウンセラーの配置充実

令和元年度は、政令市を除く全小学校702校、全中学校354校、義務教育学校1校に配置している。

県立高校については、全日制高等学校16校、定時制高等学校10校の配置を始めとして、他の県立高等学校、県立特別支援学校からの要請に対応するため、教育事務所4所、総合教育センターにも配置している。

### ○スクールソーシャルワーカーの配置充実

令和元年度は政令市、中核市を除いた全59市町村に76名配置している。

また、県立高等学校、県立特別支援学校からの要請に対応するため、定時制高校8校に8名、教育事務所4所に4名配置している。

スクールソーシャルワーカーに対し支援、援助をするため、教育局生徒指導課にスーパーバイザー2名を配置している。

### ○生徒指導ハンドブック等の活用

令和元年度は、いじめの認知や組織的対応、暴力行為に対する対応、自殺予防に対する対応などへの理解を促すため、生徒指導ハンドブック「I's2019」等を用いて全市町村教育委員会や全校種の管理職等に向けた説明を実施した。

### ○SNS等を活用した相談事業

令和元年度から県立高校15校を対象に、SNSを利用した相談体制を試行している。

### ○24時間対応する電話相談の開設

生徒や保護者の教育相談を受けるため、24時間対応の電話相談を開設している。平成30年度は、いじめや学校生活の悩み等、10,312件の相談を受けた。

### ○不登校児童生徒に対する支援推進事業

不登校の子を持つ保護者の不安や悩みを解消するため、パネルディスカッションや講演会、個別ブースでの説明などを行う「保護者や教員のための不登校セミナー」を年2回実施している。

### ○中途退学に対する対策

自立に必要な社会性等を育むことが中途退学の防止に効果的であるため、「地域の多様な人材との連携による高校生自立支援事業」により、地域若者サポートステーションと連携し、面談指導、ソーシャルスキルトレーニング、社会体験活動を実施している。

あわせて、残念ながら中途退学した者や、卒業後無業となった者に対してもサポートステーションとの関係を構築することで、切れ目ない支援を行っている。(令和元年度は、定時制23校、全日制20校の県立高校で実施)